

商業施設の建設工事を前に安全祈願祭が行われました



地権者や地域・各行政区のご理解のもと、施設の整備が進められることに感謝を伝える杉岡村長。

公設民営型の商業施設が草野地区に整備されます。建設工事の着工を前に、4月11日、現地で安全祈願祭が執り行われました。この商業施設は、鉄骨平屋建てで延べ床面積が約1,300㎡。村と協定を結ぶ株式会社ハシドラッグが出店し、令和7年春に開業する予定です。安全祈願祭を終え、関係者を前にあいさつした杉岡村長は「総合計画の基本方針に掲げる“新しい豊かさを感じる村”を目指し、村民の買い物環境の向上に向けて一丸となって取り組みたい」と述べ、思いを一つに事業に当たることを呼びかけました。

飯館村消防団の皆さんが能登半島地震に善意の寄附



赤石澤団長(右側)が来庁し、日赤県支部飯館分区長代理の高橋副村長に義援金を手渡しました。

飯館村消防団(赤石澤傳団長/飯樋町)の団員の皆さんが、能登半島地震の被災地を支援しようと、募金と寄附を行いました。

同消防団は、団員145人が1,000円ずつ出し合っで集めた14万5,000円を、日本赤十字社福島県支部飯館村分区に寄託し、被災地に送りました。3月29日に村役場を訪れた赤石澤団長が、飯館村分区長代理の高橋副村長に義援金を手渡し、「飯館村は多くの支援をいただいて復興してきた。少しでも役立てていただければ」と寄附に込める思いを述べました。

飯館村食を考える会 新年度の総会・交流会を開催



招かれた交流会の席であいさつする杉岡村長。会員の皆さんとランチを囲み、意見を交わして交流しました。

4月15日、『飯館村食を考える会』が令和6年度の総会と交流会を開きました。会場は、地域おこし協力隊の横山梨沙さんが、カフェ「CoffeePourHouse」にて水・木・金曜日にランチを提供する「コーヒー屋の食堂」です。菅野一代会長(比曾)は、食生活改善推進連絡協議会の県の会長も務めています。総会のあいさつで、今年10月に郡山市で同協議会の全国大会が開催されることに触れ、「食を通して復興の歩みを伝えられるよう取り組んでいきましょう」と呼びかけました。会では、一緒に活動する会員を随時募集しています。

飯館電力株式会社 「陽はまた昇る基金」に寄附



3月29日に菅野社長(中央)と取締役の荒利喜さん(右端/飯樋町)が来庁。杉岡村長に目録を手渡しました。

飯館電力株式会社(菅野宗夫代表取締役社長/佐須)から、飯館村の「までの村陽はまた昇る基金」へ19万6,000円の寄附をいただきました。この基金は、村民の営農再開や企業の事業再開、教育や福祉の充実などに充てられるものです。

平成26年に村民有志が“自立と再生”を掲げて設立した同社は、飯樋地区に本社を、福島市に支社を置き、再生可能エネルギー事業を行っています。昨年10月にもチャリティ村民ゴルフ大会を開催し「いいたてっ子未来基金」に寄附をいただいています。

飯館村消防団春季検閲式及び消防車両交付式・配備式を開催



消防飯館分署駐車場で行われた春季検閲式(上)と消防車両交付式・配備式(左)

4月21日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で『令和6年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員73人、役場消防隊7人の計80人が参加。杉岡村長があいさつし「村民の厚い信頼と期待に応え非常に重要な任にあたっただけている」と団員・隊員に感謝を伝えました。

また検閲式の後に行われた「消防車両交付式・配備式」では、2台の小型動力ポンプ付積載車が交付され、それぞれ第2分団第5部(長泥地区)、同第6部(蕨平地区)に配備されました。

鳥獣被害対策実施隊編成会議 今年度の活動をスタート



村内パトロールの他、要請に応じた追払い活動なども実施。有害鳥獣の捕獲で大きな成果を上げています。

4月4日、村役場で『飯館村鳥獣被害対策実施隊』の編成会議が行われました。会議では、3人の新メンバーを含む24人の隊員に、杉岡村長が委嘱状を交付。互選により、隊長に原田直志さん(深谷)、副隊長に高野秀春さん(大倉)が、どちらも再任で選出されました。また、ニホンザルの捕獲を重点的に行う「サル駆除プロジェクト」のプロジェクトリーダーも原田隊長が務めることになりました。

実施隊は、同日、綿津見神社で安全祈願と出発式を行い、今年度の活動をスタートしました。